

2011年3月吉日

## ごあいさつ

この度、静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）の初めての修了生による成果報告の抄録集を発行することになりました。

本抄録集は、静岡県教育委員会から派遣された現職大学院生14名と、学部卒業後に本専攻に入学した学卒大学院生8名の合計22名の修了生がそれぞれ2年間にわたって追究してきた実践的研究の取組の経過及び成果をまとめたものです。成果報告書の本文そのものはいずれもA4版で100ページを超えていますが、関心をお持ちの方々に、各大学院生の取り組みをコンパクトにまとめて、わかりやすくお伝えしたいとの考えから、抄録集を発行することにいたしました。

ぜひご一読いただき、教職大学院の修了生各自がこの2年間何をどのように学び、どのような課題に取り組み、どのように実践的指導力を身に付けようとしたのか、それぞれの学修プロセスをご理解いただけましたら幸いです。各大学院生の学修プロセスには、本教職大学院に在籍する専任教員と、実習先として場を提供いただいた静岡県内各地の連携協力校の先生方からの支援や連携協力が欠かせない要素として組み込まれています。修了生による取組の成果が、学校教育現場の課題解決や組織マネジメント、授業や生徒指導等の教育活動のいっそうの改善につながることを切に願っております。なお、ご希望の方につきましては、本文そのものを本教職大学院で閲覧することも可能です。

本教職大学院に在籍した大学院生が、今後とも新しい学校づくりを進める新人教員として、あるいはスクールリーダーにふさわしい力量を備えた中核的中堅教員として、それぞれが本教職大学院における2年間の学修成果を学校や地域に積極的に還元し、学校教育現場でさらなる飛躍を遂げることを期待しております。合わせて、本専攻修了後の着任校あるいは在籍校での教育実践の質的向上に関して、送り出したわれわれ教職大学院スタッフ一同が引き続きサポートしようと考えておりますので、本教職大学院が静岡大学教育学部・大学院教育学研究科と学校教育現場や教育委員会との間でよりいっそう緊密な協働関係を構築する架け橋となることを願っております。

最後になりましたが、本専攻における実践的研究の取組に関して静岡県教育委員会を始めとする各教育委員会及び連携協力校から絶大なるご協力を賜りましたこと、さらに本抄録集の作成にあたって欧文の添削をお引き受けいただいた Peter Clenments 先生に、厚く御礼申し上げます。

静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻

（教職大学院）

専攻長 原 田 唯 司